

〈論文〉

レベル横断型中国語読解テキストの設計と試行 —現代小説を題材として—

単 艾婷

要旨

本文以“文化背景下的语言习得”和“以语言为媒介的跨文化理解”这两个要素为理念，设计了“跨级汉语阅读教材”。该教材的特点是以现代小说为题材，适用于具有不同语言习得情况和学习经验的汉语学习者，旨在帮助他们接触到真正的汉语素材。本文阐述了其编写思路、体系特点，并介绍了其教学实践探索。从教学效果调查结果可以看出，该教材对于日本汉语学习者的语言习得和跨文化理解具有一定的有效性，其意义得到了认可。同时在实践中我们也发现了教材中存在的一些问题，并对其解决方法以及今后的汉语阅读教材进行了展望。

キーワード：読解テキスト 文学作品 文章・談話レベル 異文化理解

1. 「読書」と「中国語読解教育」

読書することは、あらゆる情報を瞬時に手にすることのできる現代においても依然として意義があるばかりか、この情報過多の時代にその重要性はさらに増していると言っても過言ではない。なぜならば、読書は、読者に多くの情報を与えるにとどまらず、物事への深い理解を促すからである。青柳・上長（2015:26）は、秋田（1998）の示唆を受け、読書とは「生活経験の視野を越えた時空間の世界、心という内側の世界、思考という限りない世界、それによって今まで見えていなかったものが見えてくることで広がる想像の世界を旅する過程」であると定義する。また、イーグルトン（1997:123）は「読書の意味とは、読書が私たちにより深い自己意識をもたらし、読書を契機に、自分自身のアイデンティティーに対するより批判的な見方が触発される点にある」と述べている。これは母国語での読書のみならず、外国語での読書でも同様であろう。

「外国語での読書」は、教育分野（とくに学校教育）においては「外国語読解教育」の範疇に位置づけられるが、現行の外国語教育では「読解」という学習項目は「会話」や「文法」に比べて軽視されがちな傾向にあり、中国語教育も例外ではない（平井2017）。現行の中国語教育では、会話に主眼を置いた言語能力の養成が重点化されている一方、まとまった分量があり複雑な内容構成を持つ文章（文学作品や論説など）の読解、とりわけ内容を深く理解することに関してはあまり注意が払われていない。さらに、日本の大学の（専門課程を除く）多くの中国語教育課程においては初中級者が大半を占めるため、CEFRの評価基準のレベルB2（中級後半）以降が対象とする散文文学や論説文などのテキストに真剣に向き合う機会が設けられてこなかったことも見逃せない。

アドラー・ドーレン（1997）は、読書には4つのレベルがあると指摘している。①本に

書かれた個々の言葉を識別する「初級読書」、②本に書かれた内容を確認する「点検読書」、③本に書かれた内容について理解を深める「分析読書」、④本に表現された主題について他の本と関連付けながら分析する「シントピカル読書」である。上記のCEFRの評価基準におけるレベルB2（中級後半）は、②「点検読書」に相当すると考えられる。つまり、現行の中国語教育においては、中国語テキストを十分深く読み込む機会を与えられないまま、学習課程が終了してしまうことを意味する。

しかしながら、ここで少し視点を転じてみると、日本の大学生は原則的に上述の③「分析読書」技能の習得に関連する教育課程をすでに修了しているのである。日本の高等学校の国語科学習指導要領（平成30年度告示版）では、「言語文化」や「文学国語」などの科目において、「学びに向かう力・人間性等」及び「思考力・判断力・表現力等」の育成が目指され、読書技能の涵養が図られている。

そこで、筆者は、日本語で身に付けた読書ストラテジーを最大限に活用できる内容構成を考え、言語運用能力の不足を補うための適切な学習補助を導入すれば、初級学習者であっても中国語テキスト（中国語書籍）に真剣に向き合い、深く読み込むことのできるような機会を提供することが十分に可能であると考え、中国語書籍を題材とした多様な習得レベルに対応できる読解テキストを設計した。

2. 「レベル横断型読解テキスト」の基本コンセプト

上記の問題意識のもと、筆者は現在、「読書行為を軸とした中国語学習」の一環として、「文化的背景を含めた言語習得」と「言語を媒介とした異文化理解¹⁾」という二つの要素を等価な目的とし、言語習得状況や学習経験等の多様な学習者に適用可能な読解テキスト（以下、「レベル横断型読解テキスト」と呼称する）を設計し、授業実践を試みてきた。「文化的背景を含めた言語習得」と「言語を媒介とした異文化理解」を等価な目的とした理由は、どちらか一方だけに特化した読解教育では、学習者の目標言語に対する読解力が総合的に涵養されないと考えるからである。バルト（1999）はあらゆる種類の「書かれたもの（écriture）」は「言語体（langue）」と「文体（style）」との緊張の中に成立していることを示している。これに従えば、「言語体」の学習だけでは不十分なものであり、「書かれたもの」全体に対する学習を行うのでなければ、総合的な読解力は得られないのだと言えよう。

以上を踏まえて、「レベル横断型読解テキスト」の具体的な定義を以下の通り定める。
①外国語（本実践では中国語）書籍がオーセンティックな教材として使用され、②初級・中級・上級を横断するあらゆる外国語（中国語）運用レベルの学習者に適用可能であり、③自習用教材としても教授用教材としても使用可能な読解テキストのことを指す。①～③それぞれの意義について、言語習得と異文化理解の二つの観点から述べる。

2.1 オーセンティック教材として使用することの意義

中国語書籍をオーセンティックな教材として使用することの意義は、以下の四点に集約される。

一つ目は「中国語学習の動機付け」である。久世(2019:68)は、英語教育の観点からオーセンティックな教材を使用することの意義として、「学習者に「生の英語」に触れる機会を与えることができるし、学習者自身がその体験を通して達成感や満足感を得、英語全体へのモチベーションを持つことにつながっていく」ことを挙げている。これは中国語教育においても同様である。

二つ目は「文章・談話レベルでの中国語運用能力の獲得」である。単(2020)は、中国語作文教育に関する先行研究(吳麗君等2002, 孫海平2008)における中上級学習者の中国語習得の実状を分析し、1つ1つの文を正確に作ることができる学習者においても、文と文のつながりやテキスト全体のまとまりという文より大きなレベルにおける理解が十分でなく、困難を抱えがちな側面がしばしば見られたことを報告している。これは読解教育にも通じる。中国語書籍に収録されている長文テキストを読解教材として使用することは、学習者にテキスト構造全体を意識した学習機会を提供することにつながり、単文レベルにとどまらない全体的な中国語運用能力の習得に結びつくことが期待できる。

三つ目は「中国語書籍への関心の喚起」である。翻訳家である泉京鹿氏はインタビューで「中国の人たちは今、すごい勢いで日本の本を読んでいるんですよ。(中略)今の日本の若者が気軽に手にとって楽しんでいる小説が中国でも読まれるようになっているんですね。それに対して、中国の今の小説が日本語に翻訳されている数は圧倒的に少ない」と語っている。日本人中国語学習者が中国語書籍に触れる機会を作ることは、日中文化交流の非対称性を改善するためのひとつのきっかけとなり得るものであろう。

四つ目は「中国語圏の文化について論じる空気の醸成」である。金(1974:12)は「明治以来、「脱亜」の神話にとりつかれていた日本が、アジアの諸国と、政治・経済の上だけで交渉しようとしても、それは無理である。お互いに虚心坦懐、文化を論じ、文学を論じてこそ、心ある交流は生まれるであろう」と指摘する。目標言語で書かれたオーセンティックな書籍に対して真剣に向き合う機会を設定することは、「心ある交流」という状況を生み出すための第一歩となると考えられる。

2.2 初級・中級・上級すべての学習者に適用することの意義

初級・中級・上級を横断する中国語運用レベルの学習者に適用可能なテキストを作成する意義は、以下の二点に集約される。

一つ目は「学習者一人ひとりが自身の思考スタイルや読書経験等に最適化した形でテキストを活用できる」ということである。第一節でも言及した通り、中等教育を終えた学習者であれば、初級学習者であっても母語では「分析読書」ができるだけの読解ストラテジーを習得しているはずである。これに関連して平井(2017)も第二外国語としての中国語教育の初期段階からのオーセンティック教材使用の可能性について論じている。一方、中上級学習者であっても、外国語学習者の読解プロセスを考察した甲田(2003)や、外国語読解における正確性の検証を行った高橋(2012)の報告から、外国語での読書においては「初級読書」レベルでの問題をなおざりにできないことが明らかになっている。つまり、標準

的な読解テキストではないオーセンティックな中国語書籍に関しては、初級・中級・上級という厳密な区分を設定することが必ずしも有効であるとは言えず、ここにレベル横断というコンセプトを採用する意義があると考えられる。甲田(2003)や高橋(2012)の報告は、オーセンティックな中国語の文章に馴染みがないことが中上級学習者の読解上の躓きの一因になりかねないという示唆でもある。従って、初級の段階からオーセンティックな中国語の文章を題材として取り上げ、適切な補助を導入しつつ学習する機会を設けることは、「全学習段階を通じた学習の一貫性を確保する」という観点からも有意義であると考えられる。

二つ目は「学習到達目標・学習段階ごとの留意点を網羅的に確認しながら学習を進めることができる」ということである。一般的な中国語読解テキストの場合、初級テキストでは基本語彙や基本文法の説明に大半が割かれ、テキスト全体を眺める機会がほとんどなく、上級テキストではテキストの通読に目的が絞られ、初歩の語彙や文法の解説は省略されることが常である。①単語や基本文法・②テキストの結束性と一貫性・③テキストの主題と論点という初級(①)・中級(②)・上級(③)の各学習段階の留意点を網羅して常時確認しながら学習を進めることのできる中国語読解テキストは、管見の限りでは見当たらない。しかしながら、中国語書籍のような長文テキストは①～③の要素をすべて含んではじめて成立するものであるため、これらすべての留意点に常に目を配りながらテキストを読み進めることができるような読解テキストを作成することは、総体的な中国語理解において非常に重要であると考えられる。

2.3 自習用としても教授用としても使用可能とすることの意義

自習用教材としても教授用教材としても使用可能なテキストを作成する意義は「授業内学習と授業外学習の一体化」である。授業外と授業内で読書することにはそれぞれ利点がある。授業外で読書することの主な利点は、学習者が自らの経験を参照しつつ自身の思考スタイルやペースで読むことができ、さまざまなテキストと比較しながら読み進めることができることである。他方、授業内で読書することの主な利点は、教師や他の学習者と議論しながら読むことができ、理解できない箇所について質問しながら読み進めることができることである。授業内学習と授業外学習に同一のテキストを適用し、両者を一体化することで学習効率をより向上させ、学習内容をより深化させることができると考えられる。

3. レベル横断型読解テキストの具体的な設計指針の策定

3.1 題材の決定

本実践では、短編小説集《世界上所有童话都是写给大人看的》(『世界中の童話は大人のために書かれている』)に収録されている作品《冰箱里的企鹅》(「冷蔵庫のペンギン」)を題材に「レベル横断型読解テキスト」第1冊目の作成を試みた。同作品は、2014年に天津人民出版社より出版された中国の現代小説である。同作品を題材として選定した理由は、以下の通りである。

まず、文学作品を題材とした理由は、学習者が多様な視座から深く思考し、新たな創造

を促すきっかけとなり、そして自らとは異なる他者、あるいは自分自身に目を向けるきっかけとなると考えるからである。これらに関する詳細な議論は、教育学の観点からは久世(2019)、文学的な観点からは岡(2015)が行っている。

次に、現代小説を取り上げた理由は、①文学の諸形式の中でもストーリー性・同時代性がある面白く、②中国語圏の人々がいま何を考え、どのような創造的活動を行っているのかということを知るきっかけになると考えるからである。①に関して言えば、学習者の動機付けとなり得る。②に関して言えば、中国語世界の詩的想像力は三国志や魯迅などとどまらず、現代中国にも面白い作品が数多くあるということを日本人学習者に示すことができる。

以上を踏まえて、筆者自身が楽しんで読めた現代小説の一冊の中から、学生の興味を引き出し、教授用教材として扱いやすい長さ(中国語原文で単行本10ページの分量)を備えた作品という観点から《冰箱里的企鵝》を選択した。

3.2 《冰箱里的企鵝》のプロット

作品《冰箱里的企鵝》の基本的なプロットは以下の通りである。

- [A] 「私」は毎晩寝る前に冷蔵庫を覗くという自分の習慣や、引っ越してきてすぐに思い立って冷蔵庫を買ったこと、めんどくさがり屋ゆえに手料理を作る気にもなれず、冷蔵庫をただの大きな置物にしてしまっていることなどに想いを巡らす。
- [B] (三か月前の)ある日、「私」がいつものように冷蔵庫を覗いたとき、中にペンギン(「彼女」)がいるのを見つける。
- [C] 「彼女」に夕食のお遣いを頼まれて、「私」はいやいやながら魚を買ってきて、一緒に食べながらおしゃべりする。
- [D] 「私」は「彼女」に頼まれて「彼女」が住みやすいように冷蔵庫を改造する。その後、彼女と一緒に食事をしたり、本を読んだり、世間話をするようになる。「彼女」が「私」にとってかけがえのない存在になる。
- [E] 「私」は手作りの紅焼魚を「彼女」に感激されたことをきっかけに手料理のレパートリーを増やす。
- [F] ある日、突然、家に同僚が訪ねてくる。「私」は慌てて「彼女」を冷蔵庫に押し込み、同僚に手料理を振る舞う。手料理を同僚に褒められたことで「私」は自分の変化に気づく。「彼女」は機嫌を損ねるが、その後和解する。
- [G] 「私」は意を決して「彼女」をベッドに誘う。その後、「私」と「彼女」は昼間だけでなく、寝るのも一緒に過ごすようになる。
- [H] ある日、「私」は「彼女」を自分の両親に紹介したいと「彼女」に伝える。しかし「彼女」は不機嫌になり、その夜、冷蔵庫に潜り込んで寝てしまう。「私」は独りで眠る中で今までにない孤独を感じる。
- [I] 翌日、「彼女」が冷蔵庫から跡形もなく消失する。しかし、冷蔵庫は溢れんばかりの食べ物で満ちている。

- [J] ある日、友人に、なぜ冷蔵庫に山のような食材を詰め込んでいるのかと尋ねられる。
「私」は「彼女」のことを思い浮かべる。

3.3 テキストの内容構成の基本指針

《冰箱里的企鹅》を題材とする「レベル横断型読解テキスト」の内容構成を考えるにあたり、以下の六冊の文学を題材としたコンセプトの異なる先行語学テキストを参照した。

- (1) 『多聴多読の韓国語 一対訳韓国の古典』
- (2) 『「星の王子さま」で学ぶフランス語文法』
- (3) 『ヘミングウェイで学ぶ英文法 2』
- (4) 『文学の窓 一中国語精読テキスト』
- (5) 『ラテン語を読む キケロー 「スキューピオーの夢」』
- (6) 『カムイユカラを聞いてアイヌ語を学ぶ』

上記の先行事例の分析に基づき、以下の(A)～(H)を「レベル横断型読解テキスト」の設計にあたっての基本指針とした。

- (A) 原文を編集・改稿せずそのまま使用すること
- (B) 作品は一部抜粋ではなく全文掲載とすること
- (C) 基本語彙や基本文法の解説を省略せず、なおかつコンパクトに掲載すること
- (D) 読書速度を極力阻害しない構成とすること
- (E) 行間の意味や文化的背景にアプローチできる項目を設定すること
- (F) 本文と各読解補助項目のレイアウトに注意すること
- (G) アウトプットのための学習項目を導入すること
- (H) 創造的な読みができるような工夫をすること

これらの基本指針を踏まえ、テキスト作成にあたっては、その構成を三つのパートに分け、以下の①～⑤の五項目を位置づけた。

【学習パート（読解）】

- ① 無修正の原文を段落単位で区切りながら全文使用する
- ② 「逐語訳」を導入する
- ③ 「中国語らしい表現」に関する解説を導入する

【学習パート（課題）】

- ④ 多様な解答方法が可能な課題を設定する

【解答パート】

- ⑤ 複数の翻訳例を提示する

この五項目の設定の意図は、以下の通りである。

- ① 作品とはその状態をもってすでにひとつの完成されたテキストであるという事実を確認

するため（作者と作品に敬意を表すため）であり、原文テキストに内在するニュアンスを損なうことなく作品を鑑賞できるようにするためである（留意点 A・B に対応）。

- ②初級者でも原文テキストを読み解けるようにするためである。筆者は、初級者の読解にとって最低限必要なものは「区切り位置の指定」「一対一対応した語彙リスト」「翻訳例」であると考えており、これらをコンパクトに表示し、配置するためである（留意点 C・D・F に対応）。
- ③学習者が中国語圏の人々の感性世界を想像し、より洗練された中国語表現を身につける一助とするためである（留意点 E に対応）。
- ④学習者が小説世界をより創造的に楽しめるようにするためである。言い換えれば、読者としての学習者一人ひとりに解釈の余地を与えるためである（留意点 G・H に対応）²⁾。
- ⑤翻訳には正解がなく、多様な翻訳が可能であることを示すためである（留意点 H に対応）。

4. レベル横断型読解テキストの内容構成

上記の基本指針に基づいて作成した「レベル横断型読解テキスト」は、テキストのコンセプトを説明する「イントロダクション」と作品を読む「学習パート」「解答パート」から構成されている（表 1 左列）。学習上の便宜のため、「学習パート」「解答パート」は作品原文を物語の区切りの良いところで分割し、八分冊とした。各パートの内容構成は以下の通りである。

表 1 「レベル横断型読解テキスト」の内容構成

イントロダクション	①はじめに ②学習方法の一例
学習パート（全 8 回）	①原文 ②逐語訳 ③中国語らしい表現 ④課題 課題 1：語順を確認してみよう 課題 2：翻訳してみよう 課題 3：考えてみよう ⑤質問紙
解答パート（全 8 回）	①解答 解答 1：語順を確認してみよう 解答 2：翻訳してみよう 解答 3：考えてみよう ②原文（全文） ③日本語訳（意訳）

4.1 イントロダクション

「イントロダクション」では、①「はじめに」において、本テキストのコンセプト「何をどのように学習するか」を提示した。②「学習方法の一例」では、学習者自身の学習状況に合わせた学習方法を提案した。具体的には、(A)中上級タイプI（「じっくり取り組みたい学生」）、(B)中上級タイプII（「忙しい or 集中するのが苦手な学生」）、(C)初中級・ゼロ初級（「中国語に自信がない or 初学者の学生」）という三タイプを想定し、どの学習項目を、どの順番で、どのような方法で活用するか、を提示した。なお、カッコ内はテキスト中で用いた表記を示したものである。

4.2 学習パート

「学習パート」は、「原文」「逐語訳」「中国語らしい表現」「課題」「質問紙」から構成される。「原文」は、作品を段落単位で区切り、ピンインを付記したものである（基本指針①に対応）。「逐語訳」では、原文の中国語単語と文脈に則した日本語訳語を一対一対応させて、日本語の語順で並び替えている（基本指針②に対応）。「中国語らしい表現」では、学習者にとって難しい表現や成語、中国語に特有の表現を原文中からピックアップし、例文を通して解説した（基本指針③に対応）。「課題」については、三種類を設定した。「課題1：語順を確認してみよう」は、中国語原文の語順の再確認をするものである。逐語訳では日本語の語順で単語の意味を確認しているため、学習者にこれと逆の操作をさせ、中国語の構造を理解させることを目的とした。「課題2：翻訳してみよう」は、原文の特徴的な段落を自然な日本語に翻訳させるものである。とくに翻訳時に「揺れ」が生じやすい段落や、中国語特有の表現が多く入っている段落をピックアップした（基本指針⑤に対応）。「課題3：考えてみよう」は、作品の内容について学習者により深く創造的に考えさせるためのものである（基本指針④に対応）。「質問紙」は、学生の感想やコメントを収集し、学生との対話の場として活用するために設けた。

4.3 解答パート

「解答パート」は解答を示すもので、そのうち「解答3:考えてみよう」では、教師（筆者）自身も学生と一緒にになって解釈が一義的に定まらない答えを考え、原文を尊重しつつ自由な創作を楽しんだ。例えば、テキスト中の記述に留意しつつ、物語の行間や登場人物の発話・行動の背景にあるものなどを想像させることを課題とした。この「回答パート:課題3」の詳細に関しては、単（2021）を参照されたい。また、全体の確認・復習として、毎回の原文の全文および、教師が創作した原文の全文に対する日本語意識を提示している。

5. レベル横断型読解テキストの試行的実践および教育効果検証

5.1 実践の概要

本テキスト（試作版）の教育効果と使用可能性を検証するための第一段階として、本学において二種類の実践を試験的に実施した。

一つ目の実践として、令和2年度春学期（6月1日から8月31日まで）に本学言語教育センターの自主学習用コンテンツ配布サイト「語学ラボ」上に、本テキストを自習用教材として掲示した³⁾。テキストの配布対象は、全学の初級・中級・上級すべての学生とした。

二つ目の実践として、同学期に本学の「中国語上級」クラスにおいて、本テキストを用いたオンデマンド授業(Moodle上)を実施した。「中国語上級」の授業は週1コマ開講され、四年生4名・三年生8名の計12名が履修している。履修生の内訳は、文学部1名・商学部1名・法学部2名・国際文化学部8名となっている。全15回の授業（4月15日～7月29日）中の第7回・第8回・第11回・第12回において本テキストを用いた授業を行った。現段階において授業実践を上級クラスに限定している理由は、まず最初の実践を上級クラスで行い、その中で明らかとなった課題を中級クラス、初級クラスへと段階的に反映させていくことを企図しているからである。

5.2 分析データ及び分析方法

検証に用いた分析データは、「中国語上級」クラスにおいて、各週のオンデマンド授業後に学生が課題とともに提出した質問紙調査への自由記述回答（各回12人分）である。なお「語学ラボ」の実践では、自主学習用コンテンツという性質上、学生に課題の提出を義務付けておらず、質問紙の回収率も限定的であったため、教育効果を正當に評価することができないと判断し分析対象から外した。質問紙調査の項目は、以下の通りである。

- ① 小説の内容は面白かったですか？ほかにどんな読み物を読みたいですか。
- ② 逐語訳は役に立ちましたか。分かりにくい部分がありますか。
- ③ 中国語らしい表現の解説はわかりやすかったですか。ほかに解説してほしい表現がありますか。
- ④ 課題は難しかったですか。ほかに取り組んでみたい課題がありますか。
- ⑤ ほかに何かお気づきの点や感想があれば、自由に記述してください。

分析にあたっては、各質問項目に対する学生の回答の特徴的・示唆的な文言に着目して、カテゴリー別に分類・命名した。なお、分類・命名に際しては、筆者を含めた2名の中国語教員による検討を行い、妥当性を確保した。

5.3 分析結果

質問紙調査から得られた回答は、①～⑤の質問項目ごとに、以下の表2～表6に記載したようなカテゴリーに分類された。

表2 質問項目①に対する回答（一部抜粋）

本 作 品 を 読 ん だ 感 想	肯定的 所 感	<p>(1) なんとも掴みきれない不思議な小説だなと感じました。それでいて、どこか「我」は私自身と似ている部分があるのではないかなと考えたりしました。</p> <p>(2) 内容がとても個性的で続きが気になるなと思いました。</p> <p>(3) 不思議な雰囲気のある作品で面白かったです。</p> <p>(4) 読み進めていくほどにどんどんおもしろくなっていきます。</p> <p>(5) 主人公の我とペンギンの彼女は性格や言動が真逆の設定になっていると思います。だからこそ、この小説は面白いのかなと考えたりしました。</p> <p>(6) 面白かったです。最初から最後までペンギンが高飛車で、言いたい放題で笑えました。まだ出会いの場面だと思うので、この続きが気になります！！</p> <p>(7) 「我」の生活の変化がおもしろいです。「我」と「企鵝」の間にいつか別れがくるかもしれないと思うと、少し寂しい気持ちにもなります。</p> <p>(8) 当初二人は全く性格が異なるので、大丈夫かと心配して読んでいましたが、すごく仲が良かったみたいでなんだか微笑ましかったです。</p>
	新 た な 気 づ き	<p>(9) 中国語の小説を初めて読みましたが、とてもおもしろかったです。</p> <p>(10) 中国の小説という難しい内容のイメージがありましたが、読みやすい内容でした。</p> <p>(11) 中国語の読み物と言えば、「三国志」しか見たことがなかったので、イメージがそれしかなかったのですが、一般的な小説を読んでみて、日本の小説とそんなに変わらないのだなとびっくりしました！</p>
	読 解 へ の 関 心	<p>(12) 中国語の独特な表現を学ぶことが出来てとても面白かった。</p> <p>(13) 私でも分かる単語が所々あったので、こうしてずっと勉強していればすらすらよめるようになるかもしれない、とわくわくします。</p> <p>(14) 中国語の読解はあまり得意ではありませんでしたが、この授業で少し慣れて、単語帳があれば読めるようになって来て、とても嬉しいです。</p>
次 に 読 み た い も の	現 代 も の	<p>(15) 中国語にある程度慣れたらミステリー系の小説も面白いのではないかと思います。</p> <p>(16) この小説のように日常生活を題材にした小説を読みたい。</p> <p>(17) ファンタジー小説や、ホラー小説が読んでみたいです！</p> <p>(18) 中国の現代社会で流行（若者の趣味などで）の読み物を読んでみたいです。</p> <p>(19) 私は、「5分後に意味が分かる」と○○な話というのが好きで、SSなのですけれども、中国にもあるのか気になります。</p> <p>(20) 他にはコメディ系の作品も見たいなと思いました。</p>
	歴 史 も の	<p>(21) 歴史ものやファンタジー作品を読みたいです。</p> <p>(22) 中国のことわざを紹介する読み物を読んでみたいです。</p> <p>(23) 三国志や水滸伝のような歴史的に有名なものも知りたいです。</p>
	そ の 他	<p>(24) 私は詩が好きなので、中国で有名な詩なども学習してみたいです。</p> <p>(25) ジャンルを問わず様々なものを読んでみたいです。</p>

表3 質問項目②に対する回答（一部抜粋）

有用性	読解しやすさ	(1) 逐語訳はとても分かりやすかったです。逐語訳があることですらすら読むことができ、単語も覚えやすかったです。
	理解の深化	(2) ひとつひとつの中国語の意味を考えながら理解することができるのでとても役に立つと思う。
	語彙理解の明確化	(3) 逐語訳のおかげで、どの中国語がどの日本語に訳されているのか理解しやすかったです。 (4) とてもわかりやすいです。電子辞書で検索しても出てこない単語があるので、助かっています。
	区切り位置の明瞭化	(5) どこで区切れればいいのかなど、わからない部分を訳すときに整理することができ、役に立ちました。
発展的見解		(6) 自分でこれはどういう文なのか読み解くのが楽しいので、なくてもいいかなと思いました。もちろん初心者向けだとあった方がよいですが、中級以上になると難しい単語の注釈だけあれば大丈夫だと思います。

表4 質問項目③に対する回答（一部抜粋）

分かりやすさ	例文・語彙の提示	(1) 読解する中でつまづく表現に解説がついていたのでとても助かりました。 (2) 通常の意味と作品内での意味・イメージ、例文が記載されていて、わかりやすかったです。
	副詞等の補説	(3) わかりやすかったです！！「就」が、たくさん意味があって訳すのに戸惑うことがあります。
	視覚的支援	(4) 重要な部分を色付けしてあってとても分かりやすかったです。 (5) 分かりやすかったです。红烧魚は写真付きでとても想像しやすかったです。食べたくまりました！
解説してほしい表現		(6) 中国の四字熟語表現はあまり知らないなのでその他の日常でよく使われるような四字熟語は知りたいと思いました。

表5 質問項目④に対する回答（一部抜粋）

難易度	難しい	<p>(1) 難しいと感じましたが、教科書には出てこないような表現に触れることができ、勉強になりました。</p> <p>(2) 自分で考えてみるのは難しいですが、自分でストーリーを考えることはなかなか無いので、楽しかったです。</p> <p>(3) 今回は知らない単語や、見たことはあるが意味を知らない単語が多く出てきたため、少し難しく感じました。</p> <p>(4) 文章をどこで区切ってスムーズな日本語にするか、伝わる日本語にするのが非常に難しく、よりスキルと経験を要するのではないかと思います。</p> <p>(5) いつもに比べて、日本語の語順に変えるのが難しかったです。</p>
	ちょうど良い	<p>(6) 逐語訳などのおかげで、わからないところがありつつも、最後には理解することができました。</p> <p>(7) 辞書と逐語訳を駆使すれば、ちょうど良い難易度です！</p> <p>(8) ちょうどよいレベルと感じました。</p>
	難しくない	<p>(9) 中国語の文・単語はそれほど難しいとは感じませんでしたが、小説を訳するのは初めてだったのでその点の難しさは感じました。</p> <p>(10) そこまで難しくなかったです。</p>
	その他	<p>(11) 翻訳が意外にも楽しく、全文書いた方が分かりやすかったので、前回同様、指定された部分以外も書いてみました。</p>
ほかに希望する課題	読解	<p>(12) 小説を読みながら課題を進めていくのがとても楽しかったので、また別の作品でこのような課題をしてみたいです。</p> <p>(13) 先生がおすすめの中国小説を読みたいです。</p> <p>(14) 福岡を紹介する記事を中国語で読みたいです。</p> <p>(15) 中国語らしい表現を身につけるために、並び替え問題や日本語から中国語に訳すような課題をやりたいです。</p>
	作文	<p>(16) 中国語らしい表現を使って文を作成したり、日本語から中国語に翻訳したりするなどの問題があれば、その表現を身につけられると思いました。</p>
	聴解	<p>(17) ショッピングモールで流れるような中国語のアナウンスを正確に聞き取って、真似できるようにもなりたいです。</p> <p>(18) 小説だけではなく、映画や音楽の聞き取りなどもしてみたいです。</p>
	会話	<p>(19) 会話表現の練習にも取り組んでみたいです。</p>

表6 質問項目⑤に対する回答（一部抜粋）

中国語小説への 関心	(1) 中国の小説のおもしろさに気づくことができたので、自分でも何か興味のある小説を見つけて読みたいと思いました。 (2) 中国語の文献に触れることはあっても、なかなか小説に触れることはなかったので、今回の課題はとても楽しく取り組むことができました。面白い発見をありがとうございます。
従来型授業にない面白さ	(3) 教科書の少し堅苦しい分よりも小説の方が内容的に面白かったので、小説を使った授業の方が生徒の意欲がより上がるのではないかと思います。とても良かったです。 (4) 教科書も興味深い内容ですが、小説の方が、今まで触れることがなかったので面白いです。これからのストーリー展開がとても気になります（笑） (5) 新しい課題のスタイルで面白かったです！
学習補助としてのよさ	(6) もっと様々な中国語独特の表現を知りたいです。 (7) 中国語では日本にないような表現の仕方がたくさんあるので、とても面白いと感じた。 (8) 逐語訳が非常に分かりやすく、分かりにくい部分は解説がついていたので勉強しやすかったです。

5.4 考察

本テキストの基本コンセプトおよび設計指針に準拠すれば、「中国語上級」クラスのオンデマンド授業における教育効果として①～⑤の五項目が期待される。以下では、質問紙の分類に基づき、本テキストの教育効果と使用可能性を項目ごとに考察する。

【言語習得に関する教育効果・使用可能性】

- ①中国語学習の動機付け
- ②文章・談話レベルでの中国語運用能力の獲得
- ③多様な中国語運用レベルにある学生に使用可能

【異文化理解に関する教育効果・使用可能性】

- ④中国語圏の文化に関心を持つこと
- ⑤中国語に特有の表現とその背景にあるものを知ること

①に関しては、回答①-(2)・①-(6)などの「続きが気になる」というコメントや回答⑤-(3)(4)(5)の「一般的な教科書よりも面白い」というコメントに代表される通り、本テキストが有効に機能していると考えられる。とくに回答①-(7)(8)からは、学習者が深いレベルで物語の世界を楽しんでいる様子を読み取ることができる（とりわけ①-(7)の学習者は、全4回の授業実践で到達しなかった物語終盤に当たるプロットIの場面展開をプロットDの段階ですでに予測していた）。現代小説に代表されるオーセンティックな教材が学習モチベーションの維持に高い効果があることを示唆している。

②に関しては、学習者の回答④-(1)～(5)のコメントから、本テキストが文章・談話レ

ベルの読解学習に難しさを感じる学習者に対しても、これらの学習を無理なく導入することができるツールとして有効に機能したことが見て取れる。また回答④-(9)や④-(11)のコメントからは、中国語の文章に抵抗のない学習者に対しても新たな気づきやさらなる学習機会をもたらすものとして有効であることが推察される。

③に関しては、まず上級クラスの内部においても、学習者の中国語運用レベルに多様性があることが回答④-(1)～④-(10)等のコメントにおいて確認できる。そうした多様な学生からなるクラスにおいても、各学習者が学習補助（逐語訳や中国語らしい表現の解説）を各自の学習スタイルに応じて参照することにより、テキストに対する理解を深められた状況が、回答①-(13)・①-(14)・②-(1)～(5)・③-(1)～(5)等のコメントから読み取れる。従って、「中国語上級」クラスでは本テキストが概ね有効に活用できていると判断される。しかしながら、回答②-(6)のようなコメントも見られるため、各学習項目の有用性や、読解速度を阻害しないテキストの構成についてさらに詳細かつ体系的に検証を進め、実証データを収集する必要がある。

④に関しては、回答①-(9)～(11)・⑤-(1)(2)等のコメントにあるように、本テキストが中国語圏の文化に目を向けるきっかけとして有効に機能したことが見て取れる。とりわけ、①-(11)のコメントは、「中国語世界の詩的想像力は三国志や魯迅などに止まらないのだと示す」という本テキストの題材に現代小説を用いた目的の達成に結びつくものであり、当該学習者に限定されず本テキストが有効に働く可能性を示唆するものである。

⑤に関しては、回答③-(2)・④-(1)等のコメントから同目的を概ね達成できていることが確認できる。また回答⑤-(6)・⑤-(7)のコメント等からは、本テキストが「中国語に特有の表現とその背景にあるものについて」のさらなる学習に対する動機付けとして効果的であることが判断できるだろう。

以上の検証結果から、本テキスト（試作版）が上級レベルの日本人中国語学習者の言語習得と異文化理解に対して一定の有効性を有していることが示唆された。

6. 今後の課題と展望

本実践では《冰箱里的企鵝》を題材とした「レベル横断型読解テキスト」が、日本人中国語学習者の言語習得と異文化理解に対して一定の有効性があることが示唆され、その意義が認められた。しかしながら、教授用教材としての評価対象が現段階においては上級クラス（かつ1クラス）に限定されており、レベルを横断した検証が依然として不十分であることが大きな課題として残されている。また、自習用教材としての効果の検証や授業効果の量的評価についても検討する必要が認識された。これらを問題意識として、今後、本テキストのさらなる改良とレベルを横断した実証研究を進めるとともに、本実践で得られた学生の困難さの認識に基づく支援を工夫し、希望する課題への提案を尊重して、二冊目以降のテキストを作成していく予定である。本実践が、中国語を通じた「外国語での読書」の発展の一助となれば幸いである。

注

- 1) 本稿では「異なる言語圏に生きる他者の価値観や思考・世界認識手段等を知ること」という意味で用いる。
- 2) 文学作品の「読み」と「解釈」に関するより詳細な議論は、高橋(2015)を参照されたい。
- 3) 「語学ラボ」は同学期、新型コロナウイルスの影響による全学休校に対処するために、同センターのホームページ上に新たに開設されたものである。

参考文献

- M・J・アドラー, C・V・ドーレン著; 外山滋比古, 榎未知子訳 1997. 『本を読む本』 講談社
- 秋田喜代美 1998. 『読書の発達心理学』 国土社
- 青柳ゆきの・上長然 2015. 読書は大学生の「心理的サポート」となるか, 『佐賀大学文化教育学部研究論文集』 20 (1) : 25-32 頁
- R・バルト著; 森本和夫, 林好雄訳 1999. 『エクリチュールの零度』 筑摩書房
- T・イーグルトン著; 大橋洋一訳 1997. 『新版 文学とは何か—現代批評理論への招待』 岩波書店
- HANA 韓国語教育研究会 2013. 『多聴多読の韓国語—対訳韓国の古典』 HANA
- 平井和之 2017. 初期段階での読解教育の必要性和可能性, 『中国語教育』 15 : 1-11 頁
- 泉京鹿 2009. 人民日報日本語版独占インタビュー
<http://j.people.com.cn/96507/98193/6755539.html>
- 金東旭 1974. 『朝鮮文学史』 日本放送出版協会
- 甲田直美 2009. 『文章を理解するとは—認知の仕組みから読解教育への応用まで』 スリーエーネットワーク
- 倉林秀男, 今村楯夫 2019. 『ヘミングウェイで学ぶ英文法 2』 アスク出版
- 久世恭子 2019. 『文学教材を用いた英語授業の事例研究』 ひつじ書房
- 三野博司 2007. 『「星の王子さま」で学ぶフランス語文法』 大修館書店
- 文部科学省 2019. 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 国語編』 東洋館出版社
- 中川裕, 中本ムツ子 2014. 『カムイユカラを聞いてアイヌ語を学ぶ』 白水社
- 岡真理 2015. 『アラブ、祈りとしての文学 新装版』 みすず書房
- 関根謙ほか 2020. 『文学の窓—中国語精読テキスト』 東方書店
- 単艾婷 2020. 結束性の観点から見た中国語中上級学習者の誤用—接続指標に着目して, 『中国語教育』 18 : 49-69 頁
- 単艾婷 2021. 文学テキストの空所を読む—中国語上級クラスにおける小説読解実践からの一考察, 『西南学院大学言語教育センター紀要』 11 : 49-70 頁
- 高橋亜紀子 2012. 上級中国人日本語学習者の読解の問題点—再読・筆記再生タスクの分析を通して, 『宮城教育大学紀要』 47 : 357-371 頁
- 高橋和子 2015. 『日本の英語教育における文学教材の可能性』 ひつじ書房

- 山下太郎 2017. 『ラテン語を読む キケロー「スキープオーの夢」』 ベレ出版
陈湛 2014. 《世界上所有童话都是写给大人看的》天津人民出版社
孙海平 2008. 日本学生汉语篇章偏误分析, 『下関市立大学論集』 51 : 127-134 页
吴丽君等 2002. 《日本学生汉语习得偏误研究》中国社会科学出版社

付記

本稿は、中国語教育学会 2020 年度第 2 回研究会（8 月 29 日、Zoom）における口頭発表に加筆・修正を加えたものです。当日は多くの先生方から有益なご意見を賜りました。記して感謝申し上げます。